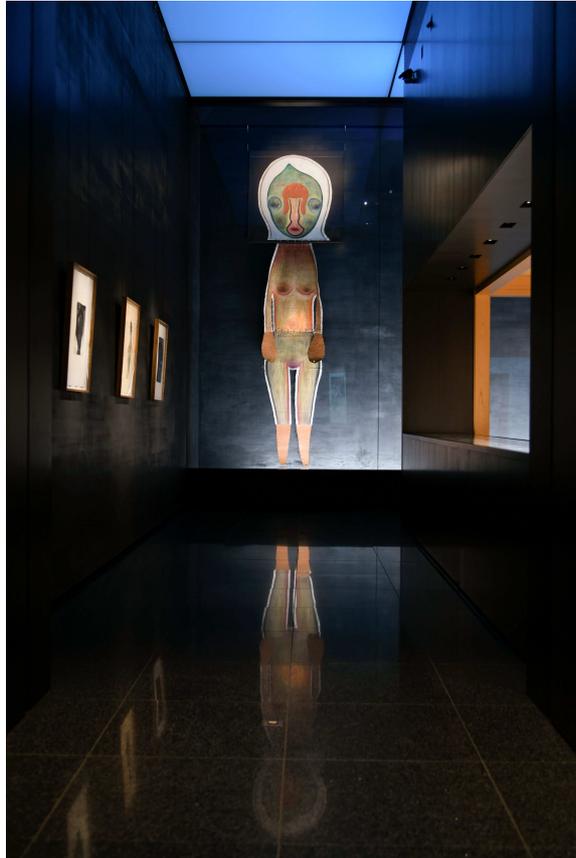




加藤泉と古美術の名品たち

ハラ ミュージアム アーク 特別展示室 観海庵

前期：2019年7月13日 [土] - 9月11日 [水] / 後期：10月25日 [金] - 2020年1月13日 [月・祝]



【図版1】 観海庵展示風景 Photo: Yusuke Sato ©2019 Izumi Kato

【展覧会概要】

開催中の「加藤泉-LIKE A ROLLING SNOWBALL」展の一企画として、ハラ ミュージアム アークでは、特別展示室 観海庵でも加藤泉の作品を展覧しています。

ファブリックを使用した新作から、リトグラフ、石や木による彫刻など 27 点が、静謐な和の空間の中で、加藤自らが選りすぐった古美術の名品たちと出会います。和ろうそくほどの照度での展示は、明るく開放的な現代ギャラリーでの展示とは趣を異にし、これまでにない加藤泉作品が秘めていた魅力を浮かび上げてみせました。加藤自身にとっても初めての試みとなる和の展示空間での古美術との取り合わせをご堪能下さい。

■展示作品数

加藤泉 (27 点)、古美術 (6 点)、現代美術 (1 点) 合計 34 点

■展示作品

(古美術) 狩野派「蘭亭図」(三井寺旧日光院客殿障壁画) 一幅 桃山-江戸時代 / 「仏涅槃図」一幅 桃山時代
手鑑「麗藻台」一帖 奈良-室町時代 / 「ぶりぶり蒔絵徳利提」一基 江戸時代
伝小栗宗湛「月に猿猴図」一幅 室町時代 / 「軍配に鉄仙蒔絵刀筒」一合 江戸時代
(現代美術) アニッシュ カプーア「虚空」1992年



HARA MUSEUM ARC



【図版2】 観海庵展示風景 Photo: Yusuke Sato ©2019 Izumi Kato

■特別展示室 観海庵（かんかいあん）とは

1988年の開館以来、世界の現代美術を紹介してきたハラミュージアム アークは、2008年、創立20周年を記念して、特別展示室「観海庵」を増設、従来の現代美術館としての活動に加え、当館ならではの視点で古美術（原六郎コレクション*）を紹介しています。「観海庵」を手がけたのは、ハラミュージアム アークを設計した建築家 磯崎新。書院造を参照して設計された空間での展示を通し、伝統と現代の交差する新しい体験の場を提案しています。

*明治時代の実業家 原六郎が、戦前、文化財保護と海外流出を防ぐために収集したもので、日本近世絵画を中心に、書、工芸、さらには中国美術など、国宝・重要文化財を含む貴重なコレクションを有します。



【図版3】 観海庵展示風景
Photo: Yusuke Sato©2019 Izumi Kato

【開催概要】

展覧会名 加藤泉と古美術の名品たち

主催 原美術館

特別協力 ペロタン

会期 前期：2019年7月13日 [土] - 9月11日 [水]

後期：2019年10月25日 [金] - 2020年1月13日 [月・祝]

※2019年9月13日 [金] - 10月23日 [水] は「磯崎新 観海庵 縁起」を開催いたします。

会場 ハラミュージアム アーク 特別展示室 観海庵

〒377-0027 群馬県渋川市金井 2855-1 Tel 0279-24-6585 E-mail arc@haramuseum.or.jp

休館日 木曜日（8月中は無休、2020年1月2日を除く）、2020年1月1日

開館時間 9:30am-4:30pm（入館は4:00pmまで）

入館料 一般1,100円、大高生700円、小中生500円、70歳以上550円

※「加藤泉-LIKE A ROLLING SNOWBALL」展(会場:現代美術ギャラリー)も併せてご鑑賞いただけます。

原美術館メンバーシップ会員は無料、学期中の土曜日は群馬県内の小中学生の入館無料

ぐーちょきパスポートのご提示により5名様まで入館料各200円割引

20名様以上団体割引/学校団体は特別料金規定あり

伊香保グリーン牧場とのセット券(一般1,800円、大高生1,500円、中学生1,400円、小学生800円)

群馬県民の日(10月28日)は県内在住の大学生以下の方は無料

交通案内 JR 上越線「渋川駅」より伊香保温泉行バスにて約15分、「グリーン牧場前」下車、徒歩5分。
車の場合、関越自動車道「渋川・伊香保IC」より8km、約15分。無料駐車場あり。

ウェブサイト <https://www.haramuseum.or.jp> Twitter <https://twitter.com/HaraMuseumARC>

担当学芸員 青野、尾形

取材・図版提供などのお問い合わせ先：ハラミュージアム アーク 広報 山川、柳田

Tel 0279-24-6585 Fax 0279-24-0449 E-mail press@haramuseum.or.jp